

一度これと決めたなら  
途中で辞めることなく、  
その想いを大切にして  
とことん追求してほしい。  
野球も車も同じです。

50歳を超えてなお、現役プロ野球投手として活躍する姿に「中年の星」と讃えられた山本昌さん。ラジコンレーサーとしても一流の腕前を持ち、無類の車好きとしても知られています。愛車のランボルギーニ・ミウラ400SVは世界的にも貴重な名車で、所有した車は愛着をもって長く乗るといふ山本さん。穏やかな笑顔のしたに熱い一面が垣間見えました。

# 山本 昌

MASA YAMAMOTO

1965年8月11日生まれ。神奈川県出身。高校卒業後ドラフト指名で中日ドラゴンズへ入団以来、30年を超える野球人生をドラゴンズ一球団に捧げた。アメリカ仕込みのスクリーボールを武器に、最多勝に3度輝き、1994年には沢村賞を受賞。最年長での先発勝利、完投勝利、完封勝利、ノーヒットノーランなど数々の最年長記録を樹立。自身もつ最年長登板記録を50歳1か月に更新して、2015年シーズン限りでの引退を決断。



## キーパーコーティングは 施工の様子も見ごたえあり

嬉しいな、シミやくすみが出てけっこう汚れたから、それがこんなにキレイになるって感動だね。ガラスの油膜もスツキリ落ちて、窓枠もピカピカ。さすがプロの仕事って感じ。実はね、5年前にこのBMWを買った時にコーティングをしてるんだ。ただ、その時はディーラーの人に全部任せちゃったから、正直どんな仕上がりがだったかも覚えてないの。僕は根っからの車好きだから、車の整備とか、こうした施工をしている様子を見るのも好きなんです。それに、この変わりようを実感するには、自分で車を持って来てお願いした方がいいね。「おおっ、すごくキレイになったじゃん！」ってなるよね。車がキレイだと嬉しくなるし、大切に買ってあげようって気になる。



今度、別の車を買って替える予定なのでそれにも絶対にキーパーしますよ。それから、コーティングの他に手洗い洗車もやってるそうですね。やっぱりプロは道具も技術もひと味違うから、今度は洗車をお願いしに来ようと思ってます。そうすれば、この輝きの感動をずーっと持続できるわけですよ。ね。

## スーパーカー小僧が そのまま大人になったって感じ

僕が車を好きになったのは、小学校5年生の時。スーパーカーブームにどっぷりはまっていたわけです(笑)。当時住んでいた神奈川県茅ヶ崎から、友達と連れ立って横浜のシーサイドモーター※まで写真を撮りに行っていました。そのまま大人になったから、とにかく車が好きでね、野球選手になってからも遠征に行くとなると、必ず外車雑誌を3冊買うんですよ。「ウィズマン(WHIZMAN)」「ゲノク(GENROK)」「ロッシ(ROSSO)」が定番でした。若い頃はナイターの試合が終わったらそのままホテルに戻るような感じですが、寝るまでの間にそれを読んで過ごすんです。でも、その本は荷物になるからホテルに置いてきちゃうんですけどね。次の遠征地に行く時、また同じ雑誌を買うの(笑)。

※シーサイドモーター/SSAのエンブレムが知られた輸入車ディーラー。ランボルギーニやマセラティの日本総代理店でもあった。

## これと決めた車は 長く大切にやる主義

ただ、そのうちにスーパーカーから次第にF1に興味をもちはじめ、中嶋悟さんの大ファンになりました。彼が出る中継は必ず見てましたね。F1レースを見てみると「やっぱりフェラーリってすごい！」って思うようになって、1億円フェラーリになったら、フェラーリを買おうと決めていたんです。93年についに1億円プレーヤーになり、手に入れたのがテストタロツサ。納車の前夜は興奮して寝れなくて、朝方の3時にシヨールームに行って自分の車をガラスに張り付けて1時間くらい眺めてました。ちょっとした変質者ですね(笑)。ミッションの車もったのは、それが初めてだったんですが、すごく乗りやすくていい車でした。8年間くらい乗ったかな。その間も他の乗用車は何台か替えましたが、これと決めた車は一度乗ると大事に、長く乗るんですよ。その次は同じくフェラーリのF40を買いました。面白くてカッコイイんだけど、3年で手放しました。何故かという、とにかく速いので「この車に乗ったら死ぬな」と思ったんです(笑)。



## ランボルギーニミウラとの 運命的な出会い

F40の次にミウラを買いました。でも、このミウラとは偶然出会ったんですよ。本当はフェラーリ288GT0を買うつもりでコレクターのところに行っていたんですが、そこにミウラがあったんです。ミウラの姿を見て一瞬でスーパーカー小僧だった頃の自分が飛び出して来ました。ミウラを見たのは小学校6年生の時にシーサイドモーターで見たりです。しかもSVでエンジンも動くって聞いて胸が高鳴りまし